



令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会 委員長 小沼秀朗

避難所における資機材整備について

Q 各広域避難所への今後の資機材配備数の計画が、地区の役員等に情報共有されていないのではないかと。今後の情報共有の方法を伺う。

A 自主防災会長会議以外にも、今後様々な機会に周知していきたいと思っております。また、避難所における資機材整備の補助制度も、周知していく必要があると考えています。

Q 飛沫感染防止用のパーテーションや、折りたたみ式ベッドは現在 2,000 台を整備済みである。今後 5,000 台まで用意する計画であるが、その数で足りるのか伺う。

A 42 の広域避難所と救護所等へ 1 箇所 100 台設置できます。ひとつのパーテーションの中にベッドを 2 台置くこともできるので、予定している 5,000 台で足りると思われま

環境産業委員会 委員長 山本裕三

上西郷工業用地に関連する道路整備の進捗について

Q 道路の測量設計委託料等の減額により、公募に影響がでないか伺う。

A 開発区域内の道路整備のため、開発事業者の計画に合わせて道路の実施設計をする予定であったが、公募を延期したことに伴い、減額補正するものであり、影響は出ないと考えます。

地区の緊急要望について

Q 地域協働環境整備費について、今後の緊急要望に対して支障をきたすことはないか伺う。

A 地区要望や材料支給分の減額分を、緊急要望事業に充てて対応をしていきます。

文化施設の臨時休業に伴う休業補償について

Q 臨時休業を行った、掛川城周辺施設の現在の状況を伺う。

A 県内外からの修学旅行生の受け入れにより、10月時点で、利用者数は約 80%ほど、収入は約 70%ほど回復しています。

文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

手話通訳者派遣事業について

Q 手話通訳者が確保できなかったことで、実際現場で困ったことはなかったか伺う。

A 窓口業務を含め、業務に支障はありませんが、要望もありますので、手話通訳者を雇用して、体制をより充実させたいと考えています。

PCR 検体採取センターについて

Q 急患診療所使用料に関連して、PCR 検体採取センターの使用期間と利用実績を伺う。

A 期間は令和 2 年 6 月 4 日から令和 3 年 3 月末まで、12 月 3 日までの実績は 214 件です。

Q 年末年始の PCR 検査はどのような対応となるのか伺う。

A PCR 検査の委託先が年末年始は休業となりますので、検査が必要な方は、県の相談センターから、年末年始に実施している医療機関に繋ぐよう周知していきます。